

(様式)

1/2

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2018年7月15日
事業ID:2016393299
事業名:渚の交番建設事業(山口・下関)
団体名:(特)コバルトブルー下関ライオンズクラブ
代表者名:新名 文博 印
TEL:083-227-2393
事業完了日:2018年6月30日

事業費総額	100,478,333円	(収支計算書に記載する決算額)
自己負担額	568,333円	
助成金額	99,910,000円	(千円未満は切り捨て)
返還見込み額	0円	(収支計算書に記載する助成金返還見込額)

事業内容:

山口県下関市島戸地区において、渚の交番を建設するために以下の事業を実施した。

1. 建設新築工事

- (1)時期:2017年9月～2018年6月
- (2)場所:山口県下関市豊北町大字神田字大河3587番2
- (3)建築構造:木造2階建
- (4)面積:291.21㎡ (1階:213.78㎡、2階:77.43㎡)
- (5)施設概要
a:1階:多目的ホール、会議室、救護室、事務室、厨房、シャワー室
b:2階:ホール、寝室

2. その他関連設備の整備

- (1)太陽光発電設備の設置
- (2)自然冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)の設置
- (3)バイオトイレの設置
- (4)調理機材等一式
- (5)清掃用品等一式

3. 渚の交番落成式

- (1)時期:2018年7月8日(日曜日)

1.事業目標の達成状況:

【申請時の目標】

1. 2017年度中に渚の交番を建設する。
2. 太陽光発電設備やバイオトイレなど環境にやさしい設備を設置する。
3. 渚の交番落成式を実施する。

【目標の達成状況】

1. 2018年6月30日 渚の交番建設完了
2. 太陽光発電設備・バイオトイレ等環境にやさしい設備の設置完了。
3. 2018年7月8日(日曜日)渚の交番の開所式を実施した。

2.事業実施によって得られた成果:

- 過疎化が進む豊北地区の再生は、下関市の重要課題となっている。課題解決に向け市と連携して進める為のハブ機能として、当初、角島での建設を予定していたが、豊北地区全体の再生という視点で島戸地区がベストという結果となった。建設地は変更となったが、逆に行政や学校、観光協会、漁協、地域住民などとの協議が重ね関係性を深めることができた。
- 関係性が深まることで行政や豊北地区の住民等にハブ機能としての「渚の交番」を広く知って頂くことができた。

3.成功したこととその要因

- 建設予定地の変更により、「渚の交番」の建設を短納期で完成させることが求められる中で、建設会社・設計事務所・当法人及び漁協、地域住民などが「渚の交番」の重要性を理解して頂き、密に連携を図ることができた。その結果、期日までに建物を完成させ、平成30年7月8日(日曜日)開所式を執り行うことが出来た。

4.失敗したこととその要因

- 豊北地区の本土側地区の住民や関係者への本プロジェクトの説明が不十分であった為、本事業が採択された後に本土側住民や団体から建設予定地の再考の意見があがり、島戸地区へ建設予定地を変更することになった。その結果、着工時期が遅れてしまった。建設予定地は豊北地区全体に本プロジェクトのことを説明し決定すべきであったと反省している。
-

事業成果物:

建設事業活動報告書・収支計算書